

はじめに

◎第19期278回隠岐海区漁業調整委員会を開催しましたので、概要をお知らせします。

出席委員（敬称略）：小中、葛西、仁田、安部、田中、森、影原

欠席委員（ ）：濱田、扇谷、池田

開催日時：平成21年6月18日（水） 14：10～15：30

開催場所：隠岐郡隠岐の島町西町 JFしまね西郷支所 3F会議室

議題

1. 島根県の海洋生物資源の保存及び管理に関する計画の変更について（諮問）

サバ類およびズワイガニの平成21年漁期（平成21年7月から平成22年6月）のTAC（漁獲可能量）が国から示されました。このことについて知事から諮問があり、委員会において審議を行いました。

委員からはサバ類の知事管理量が大幅に減少している点について質問があった他、漁模様が良かった場合に追加配分を受けられるかどうかの確認がされました。

《審議の結果》この諮問について、異議なしの答申をすることになりました。

〔表1〕

第一種特定海洋生物資源の種類	平成20年1～12月の知事管理量	平成21年1～12月の知事管理量
マイワシ	若干	若干
マサバ及びゴマサバ	26,000トン	10,000トン
マアジ	28,000トン	34,000トン
スルメイカ	若干	若干
ズワイガニ	若干	若干

※ ズワイガニ、マサバ及びゴマサバについては、7月から翌年6月の知事管理量。

2. 次期(第6次)島根県栽培漁業基本計画の策定について(報告)

次期(第6次)島根県栽培漁業基本計画の策定について説明等を行いました。委員からは栽培漁業の経済効果の有無、程度、調査方法について意見が交わされました。また今後の栽培漁業の必要性、重要性などについても積極的に意見交換が行われました。

【報告の概要】

- ・第5次計画が平成22年末に終了するにあたり、今年度中に次期計画(第6次)を策定する必要がある。
- ・計画の検討に向けた主要課題として、現在対象種の見直し(マダイ、ヒラメ、アワビ、アカアマダイ)、放流効果の検証(マダイ、ヒラメ)、地区別放流計画の見直し(対象種、尾数)、新規対象種の取り扱いがあげられている。
- ・第5次栽培漁業基本計画の目標値、技術開発上の問題点、技術開発水準の到達すべき段階について説明。

〔表2〕平成21年度における水産動物の種類ごとの種苗の放流数量及び放流時の大きさの目標値

区分	魚種	放流数量	放流時の大きさ
魚類	マダイ	1,000千尾	全長 70mm
	ヒラメ	700千尾	全長 80mm
	オニオコゼ	160千尾	全長 50mm
貝類	アカアマダイ	10千尾	全長 100mm
	アワビ	500千個	殻長 30mm

〔表3〕解決すべき技術開発上の問題点

水産動物の種類	技術開発上の問題点
マダイ ヒラメ	放流技術 無眼側着色魚の出現防止、選別技術 優良親魚養成、放流技術
オニオコゼ アカアマダイ	採卵技術、飼育技術、放流技術 親魚確保、採卵技術、種苗生産技術、中間育成技術、 放流技術
アワビ	中間育成技術、放流技術

3. 全国海区漁業調整委員会連合会通常総会について（報告）

平成21年5月14日に開催された全国海区漁業調整委員会連合会平成21年度通常総会についての結果概要報告をしました。

【報告の概要】

- ・第1号議案(平成20年度事業報告、収支決算、積立金明細、余剰金処分(案))原案の通り承認。
- ・第2号議案(平成21年度事業計画案及び収支予算(案))原案の通り承認。
- ・第3号議案(平成21年度全漁調連要望事項(案))原案の通り承認。
- ・第4号議案(第14期役員を選任について(案))原案の通り承認。

4. ヨコワ曳き縄釣りの新規参入について（報告）

クロマグロ養殖用種苗(ヨコワ)の曳き縄釣りについて、今漁期より海士町漁協において新規参入するとの報告がありました。委員からはヨコワ釣り漁業の重要性、他漁業への影響、クロマグロ資源の回遊経路や資源動向について意見が交わされました。

【報告の概要】

- ・契約業者、隻数、養殖場、契約尾数について。
- ・他島のヨコワ釣りグループへの周知と隠岐ヨコワ釣り連絡会への参画について。

おわりに

◎秋は一年を通じて過ごしやすい季節ということもあり、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋とよく言われますね。とはいってもやはり秋といえば食の秋です。脂ののったアジ、サバなどを堪能されてはいかがでしょう。